

# ふくろう新聞

＜発行＞ ホームの郷会  
 特別養護老人ホーム  
 淡路ふくろう委員会  
 洲本市中川原町  
 中川原28番地1  
 TEL: 0799-25-8550  
 FAX: 0799-25-8551  
 ホームページ  
<http://www.normanet.ne.jp/~hyoufuku/>

第14回全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会  
 (全聴福研)開催まであとわずかとなりました。  
 今年は私たち兵庫が主催です。全国の仲間と共に、  
 重複・高齢聴覚言語障害者の発達と権利保障の前進  
 を目指します。  
 たくさんの皆様のご参加、お待ちしております。

## 新理事長挨拶



白水祥文  
(しらみずよしふみ)

去る理事会(9月26日)において理事長を拝命いたしました白水祥文です。

前任の三根一乗様はまだまだお元気で、淡路ふくろうの郷にとつては二人となの方でしたが、今日の医師不足により生じている様々な問題から地域の子供たちを守らなければいけないという先生の強い使命感を尊重しました。幸い理事として引き続き尽力いただけることとす。さて私ですが、教師とし

ての42年間を旧盲学校・養護学校に勤めさせていただきました。そんな関係もあり、聴覚障害者の特別養護老人ホーム建設の話が出た時から、兵庫聴覚障害者福祉協会の皆

さまと一緒に老人ホーム建設のための団体の一員として、微力ながら活動させていただきました。そして「淡路ふくろうの郷」の建設がなされた時から理事8人の一員となりました。

今回の理事着任に当たり、この2年間を誠心誠意勤めさせていただき、良き後任者の育成にも心を砕きたいと思っております。



## 前理事長退任挨拶



三根一乗  
(みねかずのり)

当協会生みの親の一人であられる池尻重義先生の急逝の後をうけて、何の準備も、予備知識もないままに理事長職をお受けして5年近くが経過しました。

就任当初は、淡路医師会長、洲本市医師会長、兵庫県保険医協会議長等々を兼務しており、当協会の運営に関わることができる時間は本当にわずかしかなりませんでした。このことが、以後長く後悔の思い・慙愧の思い

私の胸に深く刻み込むことになりました。

そんな私がこの重責を何とか務めることができたのは、関係者の皆さまがたの支えがあつてのことです。ここにあらためて深く感謝の意を表する次第であります。

来年はふくろうの郷開設5周年を迎えます。この節目の年にあたり、新しい理事長のもとで、新しい目標に向つて邁進していくことが最もふさわしいと考えました。

幸い白水祥文先生が快く後任をお引き受け下さいました。白水先生は、私



がかねてから深く尊敬申し上げている方であります。私にとりましては、こんなに嬉しいことはありません。

私自身について申し上げれば、この5年間に実に多くのことを学ばせていただきました。法人に関わる多くの皆さまが教えてくださった深い洞察力・見識、広い視野、経験に基づいて得られた知識が、これらの私の生により一層の豊かさを与えてくれるでしょう。

そして何よりも入所者の方々が、ご自身の人生の中で深く刻まれた心のひだの一つひとつに宿る未来を信じる思い、不屈の精神力が私の心の支えになってくれるでしょう。

そんな思いを胸にして、理事長職を解かせていただきます。





▲ 開所式。みんな笑顔で新たなスタートを切りました。

# 秋なすの 色鮮やかな 母の味

(清水允子作)

清水様は難聴者の方です。俳句だけでなく、色々なことに興味を示され、積極的に勉強されています。今回もしばし思いにふけ、70歳を超えた今でも、亡き母の作ってくれた忘れられない手料理の味を表現してくださいました。



## おのころの家心の俳句

おのころの家(就労支援B型)の通所者さんが作られた俳句をご紹介します。

### おのころの家 就労継続支援B型に移行

地域活動支援センター「おのころの家」は十月一日より就労継続支援B型に移行しました。

当初の予想を上回る30名の方々に利用登録をいただき感謝の気持ちでいっぱいです。職員も4名から6名に増え、皆さまのご支援、ご期待に応えられるよう頑張ります。

「おのころの家」

職員一同



**聴障ネット&ふくろうの郷**  
入所者の皆さんが描かれたふくろうの絵がとってもキュート。一枚五〇〇円です。

詳しくは法人HP  
**2011年カレンダー**

NHK「世界遺産」等の番組制作に携わっておられる、フリーのテレビディレクター、宇土美子さんが、毎日新聞に掲載された淡路ふくろうの郷の記事を読まれ、お越しく下さいました。

秋雨に彼岸花が洗われる日、私は入居者の皆さんの「笑顔」をお土産に、ふくろうの郷をあとにしました。

その7日前、私は自分への「怒り」に背中を押され、「ここを訪ねたのです。耳の聴こえない入居者の方たちが、ふくろうの郷で暮らせるようになる以前に世間から受けた辛い体験を、新聞記事で目にし



▲ 宇土さんと一緒に☆

たのがきっかけでした。

閉鎖病棟に追いやりれたり、子供を生むことを断念させられたり、本当ならその人の手の中にあったはずの年月や機会が無理解から奪われたことに、「許せない」という思いがわき上がりました。

同時に、その「許せない」は、私自身に向かいました。身近にいたはずの聞こえない人たちの境遇に無関心のまま生きてきたからです。

ぜひ入居者の方たちにお会いしてみたいと、気負いとともに訪れた私を、皆さんは明るい笑顔で迎

え入れ、絶えず語りかけてきてくれました。笑顔の向こう側で、過酷な人生を生き抜いてこられたその姿に、私は尊敬の気持ちをもちました。そして、ふくろうの郷で暮らすことで、笑顔を取り戻されていることに安堵もしました。

7日間の滞在を終え、自分自身の無知に対する「怒り」は、聞こえない世界を知ろうとした行動によって、ごくわずか救われました。しかし、私は、まだ何もできていません。もし、これから皆さんのお役に立つことができれば、その「怒り」は和らぐのかもしれない。

ふくろうの郷を出て、聞こえる世界に戻ったとき、ふと、手話がないのが寂しくなり、入居者の皆さんの顔を思い浮かべ、人恋しくなりました。

ディレクター：宇土美子





# 法人役員の変更が行われました

理事長  
・白水祥文

理事  
・三根一乗  
・大矢暹  
・橋詰武久  
・池上むつみ  
・小林泉  
・本郷善通

監事  
・立石由起男  
・村井義忠

評議員(理事を除く)  
・嘉田眞典  
・斉藤 勇  
・朝倉 宏  
・湊 百江  
・平野俊和  
・長塚寿子  
・廣地タマへ  
・八木勝光

・岩林恵子(新任)  
・岩本吉正(新任)  
・星 百合香(新任)  
・岩林寛子(新任)



仲井正  
(新任)



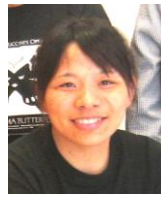
岩林恵子  
(新任)



星百合香  
(新任)



岩本吉正  
(新任)



岩林寛子  
(新任)



平成22年9月25日の理事会・評議員会において、法人役員の変更が行われました。理事長の交替については本紙一面でお伝えした通りです。

理事職では須磨喜三郎が退任し、その交代として仲井正が着任。評議員では水田俊子、萩原数一、和田幸子が退任し、その交代として上記3名が着任。そして今回、新たに評議員枠を1名増やし、職員団体代表として岩林寛子が着任いたしました。

役員の任期は平成22年9月26日〜平成24年9月25日までの2年間です。よろしくお願いいたします。

## リリース Casey ふくろうの郷のみなさんに見守られて 評議員・長塚寿子

7年前のその日、妹が通っていたデイサービスから、私に連絡が入りました。「淑子さんの足に針が刺さっていたのですが、無事に抜くことが出来ました。朝、来られた時はとても冷たく体温も下がっていましたが、今はまた温くなつてきています。」

その日、夜あまり眠れなかつた妹と一緒に過ごした私は、共に疲れきつた状態で朝を迎えました。妹は朝食後も機嫌が悪く、パニック状態になり物を投げ始めました。気付いた時には針箱もひっくり返していたのです。慌てて針を片付けた私には、妹の足の針に気付く余裕はありませんでした。出勤時間も迫っていたので、朝食後のいつもの薬の後に更に興奮を抑えるための安定剤を服用させてしまったのです。そのために小さな体の妹には薬の量が多く体温低下を招いた



寿子さんと妹の淑子さん

のではないかと言われました。この出来事で、もう私には妹の命を守れないんだということを初めて自覚しました。

当時、介護保険サービスを利用しながら両親と妹の三人を自宅で介護していましたが、勤めていた私にはかなり過酷な状況でした。ケアマネージャーからは三人の入所を勧められました。なかなか決断は出来ませんでした。

しかし、この出来事後、妹は施設のショートステイで過ごしました。しかし、馴染めず、情緒不安

になり食事も摂れなくなり、痩せていくばかりでした。

途方にくれて以前お世話になった医師に相談した所、妹に相応しい施設が見つかるまで預かりますよ、と仰って頂き、病院で数年静かに過ごしておりました。そんな時、妹には遠い将来と想っていた、ふくろうの郷がまもなく完成することを知りました。

入所した日、緊張してなかなか前に進めなかつた妹が部屋に入ると、ここが私の部屋？と尋ねるような表情で笑みを浮かべ、私達もホッとしました。

私には守ることが難しい命を今、皆さんの日々の暖かい手のつながりによって生かされている。そのことを改めて感謝と共に実感しております。

ふくろうの郷、それは、そういう思いを抱いている人々の集まった場所なのですね。

# 地域を語る

## 第22回「身隠人」の伝承

### 松亀寺：飛騨高山城主

金森出雲守長近公の菩提所  
能満山松亀寺 平松秀文住職

「松亀寺」は、飛騨高山初代城主金森長近公の菩提所とされてきた。松亀寺にある供養塔には「金森長近公は織田、豊臣に使用え飛騨高山の初代城主となるが、秀吉の家臣石田三成とはそりが合わず、関が原の戦いでは徳川方に味方した。しかし、中傷で戦後、陸奥に国替えが決まるとや大阪の陣で大坂城に入り秀頼に仕えるものの、大坂城が落城するとともに、一族郎党を従え淡路に逃れこの地に居を構えた」と記されている。

地元では「身隠人（みかくれびと）」と呼ばれ、一族は農業の傍ら館を作って諸国を売り歩いたとされ、その屋敷跡は「館屋の森」（安坂地区）と呼ばれている。

その一族の墓所が松亀

寺の裏山にあり、長近公の墓石も同場所にあったとされるが、土砂崩れにより埋没したとされる。

戦前、金森氏の末裔を名乗る人が寺を訪ね、墓石を掘り出そうとしたが叶わず、墓石のあった場所に昭和14年に「金森出雲守長近累代先祖」の供養塔を建立した。現在も境内の墓地の一角に整然と他の一族の墓とともに安置されている。

地元でこの長近公の墓所に関して調査した中野豊氏（個人）の推測によれば淡路にきた経緯については大坂城落城後、一旦は豊臣家の旧臣であった池田氏を頼って備前（現在の岡山県）に入った後、身の安全を考え、当時、池田氏の所領であった淡路に潜伏。その後、領主が蜂須賀氏に変わるものの、蜂須賀氏も金森氏とは旧知の間柄であったため、黙認したばかりか、密かに保護したのではないかと推測している。



▲ 金森出雲守長近公の肖像



## 秋の大運動会

爽やかな秋晴れ

～第5回～  
**ふくろうふれ愛まつり**

2010年10月24日(日)  
10:30～14:30

- 全国 B 級グルメ第 3 位(美作ろうあ協会)
- 池田のピンス焼
- 最近、じわじわブーム・キャベツ焼(神戸ろう協、長田支部)
- 嵯峨野の手話まつりでも好評、京都宇治の抹茶羊羹(京田辺の手話サークル・ろう協)
- 毎年出店、大人気・海鮮焼(手話サークル津名)
- 地元の新鮮野菜(市原青空会)
- 南京玉すだれ(あまのはしだて座)
- ダンス(中川原保育園)
- 手話劇・鶴の恩返し(ふくろうの郷入所者)
- 和太鼓(淡路三原高校)
- 仮装駅伝 etc.

9月18日(土)地元中川原町の運動会に参加しました。

参加競技は「ふれあい玉入れ」。中川原小学校一、二、三年生・中川原老人会のみなさん・淡路ふくろうの郷の入所者が一緒になって玉入れをしました。入所者は童心に帰って競技を楽しみました。

結果は赤白同数の引き分け！両者勝利！みんなで万歳をして、笑顔で締めくくりました。小学校の子供たちと交流が出来たことも良かったと思います。

(：角村)

# 第14回全国聴覚言語障害者福祉研究交流会(全聴福研)

全聴福研とは、全国5つの聴覚障害者関係の社会福祉法人が、毎年持ち回りで開催している大規模な研究集会です。みなさんのたくさんのご参加、お待ちしております。みんなで交流、議論しましょう！

要員(ボランティア)の募集も同時に行なっています。こちらもよろしくお願いします。

- 日時 平成22年11月6日(土)～平成22年11月7日(日)
- 場所 神戸市勤労会館(JR三ノ宮・各私鉄三宮駅から徒歩5分)
- 参加費 5000円 ●申込受付、継続中！！ (担当:裏井)

詳細は  
法人HP

たくさんのレポート報告のお申込み、ありがとうございました！  
おのころの家、淡路ふくろうの郷からもレポート報告をします。少しご紹介。

- ①在宅の落とし穴(仮)／おのころの家 岡本久子
- ②安全でおいしい食事の提供 ～ソフト食の取り組み～／淡路ふくろうの郷 岩林寛子
- ③M.K氏と関わることで見えてきたものは何か？／淡路ふくろうの郷 石川富美



よろしくお願いします。